

平成 29 年度アンデス諸国学生短期派遣プログラム 募集要項

1. 概要

山形大学は、平成 27 年度に大学教育再生戦略推進費「大学の世界展開力強化事業」
「山形・アンデス諸国」ダブル・トライアングル・プログラムに採択されました。この
プログラムの一貫として、平成 29 年度も南米 3 カ国（ペルー、ボリビア、チリ）におけ
る短期研修を実施します。学生は、これら 3 カ国において現地の学生とともに、天然資
源やエネルギー資源を用いた産業開発、貧困問題などの解決に向けた福祉開発、環境保
全に関する取り組みなどを現地訪問型で学習するとともに、グローバルコミュニケーション能力とリーダーシップの育成ならびにバイタリティの向上を目指します。

2. 目的

山形大学、米沢栄養大学、鶴岡高専の学生を南米 3 カ国に派遣し、現地の協定校の学
生とともに研修に参加することで、学生のグローバル能力を向上させ、多文化共生につ
いて理解を深めます。また現地研修を通じて実際の南米諸国の課題を理解し、解決策を
模索するとともに、グループワークなどを通じてコミュニケーション能力、リーダーシ
ップ力、企画力などの能力の向上を図ります。将来的に国際協力の領域やグローバル企
業で働くことができる能力を育成します。

【育成する人材像】

○経済・福祉・自然の再生産に貢献できるバランスの取れた人材で、3 カ国語（日本語・
英語・スペイン語）の運用能力とコミュニケーション力に長けた人材。

○行動力とバイタリティに溢れ、国際協力や国際プロジェクトに積極的に取り組める人
材。

○リーダーシップを発揮して組織をまとめて先導し、日本とアンデス諸国のブリッジに
なりうる人材。

○相手国の多様な文化・価値・技術・社会を理解し、プロジェクトを的確に企画・実施で
きる人材。

3. 日程

※ 現時点での予定であり、今後変更される可能性があります。具体的な日程について
は確定次第、HP 等でご連絡します。派遣中は引率のために 2 名以上の教職員が同行
します。

事前学習会	出発日	帰国日	事後学習会
H30 年 1 月中旬	H30 年 2 月中旬～ 下旬	H30 年 3 月上旬～ 中旬	H30 年 4 月中旬

4. 募集人数

全体で 12 名程度

5. 応募条件

以下の全ての条件にあてはまることが応募要件となります。

- ①山形大学、米沢栄養大学に在籍する学部1、2、3、4年生もしくは大学院修士課程1、2年生、または博士課程1、2年生（鶴岡高専については専攻科の1、2年生または本科の4、5年生）。来春卒業(修了)となる最終学年の学生は応募できませんが、山形大学の大学院や鶴岡高専の専攻科等、本プログラム実施機関の上位課程への進学が確定している者は応募可。
- ②平成29年4月から山形大学小白川キャンパスで実施しているスペイン語講座に参加し、確実に修了できる者。（米沢キャンパス、鶴岡キャンパスおよび米沢栄養大学と鶴岡高専の学生は、録画教材を利用した学習と集中講義への参加により代替することができる。その場合、小白川キャンパスで実施される試験と同程度の試験で60点以上をとることを条件とする。）
- ③英語での講義を理解し、英語でディスカッションできること。また、TOEIC(TOEIC IPを含む)、TOEFLiBT、英検、CFER等のスコアカード・資格のコピーを申請書と共に提出できること。
※他の資格などをお持ちの方は別途、山形大学人文社会科学部DTP推進室までご相談ください。
- ④本プログラムで受け入れる南米学生との交流やその支援に積極的に関わる意思のある者。
- ⑤各キャンパスにて実施される事前学習会（米沢キャンパス、鶴岡キャンパスについては遠隔システムを用いた受講の可能性あり）を含めた全ての日程に参加できること。
- ⑥派遣決定後、プレゼンテーションやレポート等の事前課題を提出できること。
- ⑦滞在中、健康面を含めた必要な自己管理が出来ること。
- ⑧事後レポートを提出すること。また、報告会等へ参加し、本プログラムの情報発信に協力できること。
- ⑨選考終了後直ちにパスポートを所有できること、または既にパスポートを所有している者。

※GPAが2.3以上の者はJASSOからの奨学金（6万円）を受給できる可能性があります。JASSOのGPAの計算式は、山形大学および米沢栄養大学、鶴岡高専のGPAの計算式とは異なる可能性がありますので、各自、自分の成績を下記計算式に当てはめて算出してください。選考に当たっては、この成績基準を満たす者を優先します。

	成績評価				
4段階評価(パターン1)	—	優	良	可	不可
4段階評価(パターン2)	—	A	B	C	F
4段階評価(パターン3)	—	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
5段階評価(パターン4)	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下
5段階評価(パターン5)	S	A	B	C	F
5段階評価(パターン6)	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

<JASSOの成績評価計算式>

$$〔\text{評価ポイント3の単位数} \times 3〕 + 〔\text{評価ポイント2の単位数} \times 2〕 + 〔\text{評価ポイント1の単位数} \times 1〕 + 〔\text{評価ポイント0の単位数} \times 0〕$$

総登録単位数

6. 申請方法

①別紙様式1『アンデス諸国学生派遣プログラム申請書』と、②英語のスコアカードまたは資格を証明するコピー、③成績証明書、の3点を、山形大学人文学部DTP推進室にメールもしくは郵送で提出してください。

7. 申請締切

平成29年11月30日(木) 17:00 必着。

8. 選考基準・結果通知

次の基準に基づき、書類審査及び面接にてプログラム担当教員、プログラム協力教員が選考し、本人宛に通知します。

- ① プログラムが目指す「養成する人材像」に対して強い意欲のある者
- ② 諸外国の大学生及び市民等と積極的に交流を図る意欲のある者
- ③ 山形大学、米沢栄養大学、鶴岡高専のグローバル化のために取り組む意欲のある者
- ④ 英語に関する運用能力を有しており、スペイン語の習得に対しても積極的に取り組める者
- ⑤ 大学(高専)における学業成績が優秀である者。

(1) 第1次選考 書類審査

選考結果は、平成29年12月8日(金)までにメールにより申請者本人へ通知します。

(2) 第2次選考 面接審査

面接日は平成29年12月第3週頃を予定。第1次選考の結果通知の際に、面接日を調整します。

➤ 英語での口頭試問もあります。

第2次選考の結果は、平成29年12月26日(火)までにメールにより申請者本人へ通知します。

※ ダブル・トライアングル・プログラム(DTP)推進室からの連絡は、申請書に記入された連絡先へ行います。そのため必ず連絡の取れるアドレスを記入するとともに、毎日チェックするようにしてください。また、選考結果に関する問い合わせには、一切お答えできませんのでご了承ください。

9. 費用

- (1) 渡航費用、現地旅費、宿泊費についてはプログラムより支給。
- (2) プログラムに係る費用。

航空券：	約 340,000円
宿泊費：	約 80,000円
現地交通費：	約 30,000円
食費：	約 45,000円
国内旅費：	約 30,000円
海外渡航保険：	約 20,000円
予防接種：	約 10,000円

- 食費、国内旅費（成田空港までの移動費用）、海外渡航保険、予防接種料金は自己負担。

※JASSO が定める成績基準を満たしている場合には、「海外留学支援制度（重点政策枠）」により、6万円程度が支給される可能性があります（上記5. 応募条件の※参照）。

10. 事前・事後学習

派遣学生は、事前学習会および事後学習会への参加が必要となります。また、プログラム終了後「アンデス諸国学生派遣プログラム学習報告書」の提出が必要です。

事前学習会及びオリエンテーション

派遣合格者を対象に別途、連絡します。平成30年1月に実施する予定です。

事後学習会

派遣学生を対象に別途、連絡をします。平成30年4月に実施する予定です。

11. 渡航準備について

次の点については、派遣決定後に速やかに学生が各自で手配・準備してください。

(1) パスポート・ビザ

アメリカを経由してペルーに入国するため、パスポートの残存有効期間が南米滞在日数プラス6ヶ月以上必要です。ペルー入国のビザは必要ありませんが、アメリカを経由するため、電子渡航認証システム（ESTA）により、渡航認証を取得する必要があります（自己負担で取得）。

(2) 感染性症等に対する予防措置

① A型肝炎

生水、氷、生肉、生野菜などから感染する可能性が高いです。ペルーではセビツェに代表する魚介を使った料理が豊富であり、またボリビアでも感染報告があることから、ワクチンの接種を推奨します（自己負担）。A型肝炎のワクチンは、2～4週間の間隔で2回接種することになるため、早めに計画をたてて接種してください。

② 黄熱病

派遣される学生は必ず黄熱病の予防接種を受けてください（自己負担）。予防接種は、下記で事前に申し込んでから接種願います。また証明書を必ずパスポートと一緒に保管・持参してください（黄熱病の予防接種は生涯有効）。

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター(仙台検疫所)

電話：022-367-8101

詳細：https://www.forth.go.jp/keneki/sendai/yobou/yobou_area.html

③ 高山病

ボリビアのラパス市およびウユニ市は、高山地域にあります。標高は3,500～3,800メートルほどありますので、高山病への注意が必要です。熱いお風呂に入らない、市内はゆっくり歩く、食べ過ぎない、水分を多く摂取するなど気をつけてください。高山病の予防には、薬の服用が効果的です。お近くの病院を受診し、できるだけ「ダイアモックス錠」を1週間分ほど、入手するようにしてください。米沢市立病院（米沢市）、武田内科胃腸科医院（山形市）、鶴岡協立病院（鶴岡市）等で診察を受けたうえで入手できます（保険適用外）。

④ 治安対策

派遣地域は比較的、安全な地域を選んでいます。都市部などであっても日中でも危険な地域・場所などがあります。事前説明会などで説明をしますので、このような地域には絶対に近寄らないようにしてください。また夜間に出歩くことは非常に危険です。引率教員の指示に従って行動するようにしてください。

（3）海外旅行保険

万が一に備え、保険には必ず各自で加入してください。

（4）その他

厚生労働省検疫所HP等を確認し、最新の情報を得るとともに、各自で必要と思われる予防策を講じてください。

FORTH 厚生労働省検疫所

<http://www.forth.go.jp>

仙台医療センター 海外旅行外来

<http://www.snh.go.jp/Subject/25/>

12. 申し込みおよび問合せ先

山形大学人文学部 DTP 推進室

TEL：023-628-4779

EMAIL：honbu-dtp@jm.kj.yamagata-u.ac.jp